

地域ボランティア プログラム

「竹林整備」

2017/1/7



新年最初の地域ボランティアプログラムの活動として、1月7日(土)、本学の南大沢キャンパス松木日向緑地にて、竹林整備を行いました。8人の学生が参加し、「ひなた緑地遊学会」のメンバーにご指導いただきながら活動しました。今回の活動は、次回1月21日(土)に都立高校の高校生を招いて、大学生と高校生が一緒に竹林整備の活動を行うため、その際に大学生が高校生に教えることができるよ



うに練習するというねらいもありました。

3班に分かれて、まず、これまでの振り返りとして、改めて刃物の扱い方や古い竹の見分け方、竹の切る位置、切り方、倒し方などを確認し、遊学会の方の指示がなくても自分たちだけで切ることができるように練習をしました。そして、切り出す人と切った竹を林外に運び出す人の二手に分かれて役割分担をして活動したことで、スムーズな活動ができました。10月に活動を始めたときに比べて、全員、道具の扱いがうまくなり、切るのも随分早くなりました。今回は、竹林の間伐作業を集中しておこなったため、かなり作業が捗り、作業の前後で間隔や日当たりなど竹林の明らかな違いを感じる事ができました。目に見える変化があったことで、それぞれ達成感を得ることができたようです。

ただ、遊学会の方からも慣れてきた頃に怖いのはケガだという話がありました。作業に夢中になってしまうと周りへの注意が向かなくなってしまうことがあるため、「安全管理が最優先事項である」という共通認識を改めて確認しました。

今回は、高校生との活動です。緑地までの誘導や受付、道具の着け方指導、司会、活動中のサポートなど、大学生が主体となって行います。次回に向けて、大学生からは「高校生をリードする立場なので、これまでの活動を通して学んできたものを発信し、共有したい」「なぜ苦勞しながら竹林を管理しなければいけないのか、今の松木日向緑地はどういう状態なのか、作業を通じてどんな産物があるのか、といった活動の原点を高校生に伝えたい」という声が聞かれました。

自分たちが活動するだけでなく、サポートしたり、リードしたりする立場での彼ら彼女らの活躍にますます期待が高まります。

